取付説明書

ミラーキャビネット

MFA・MFK・MD7シリーズ

MFA-601(H)　MFA-751(H)
MFK-501　MFK-501-G　MFK-601(H)　MFK-751(H)
MD7X1-501XF

取付前の注意

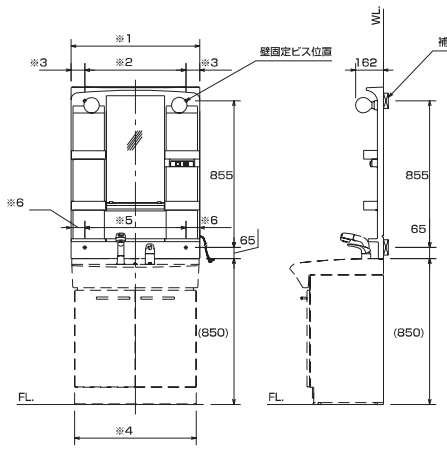
- 取付けに際しては、必ずこの取付説明書に従い正しく取り付けてください。
  ※この取付説明書に記載されていない方法で取り付けられ、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分にご注意ください。
- 「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客さまにお渡しください。
- 取付業者さまは、商品に欠陥を生じさせる可能性を有しているゆえに、取付業者さまが欠陥を生じさせた場合は過失責任を負うことを十分認識いただき、お客さまが安全で快適にご使用できるようにご協力ください。
- 付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■付属部品

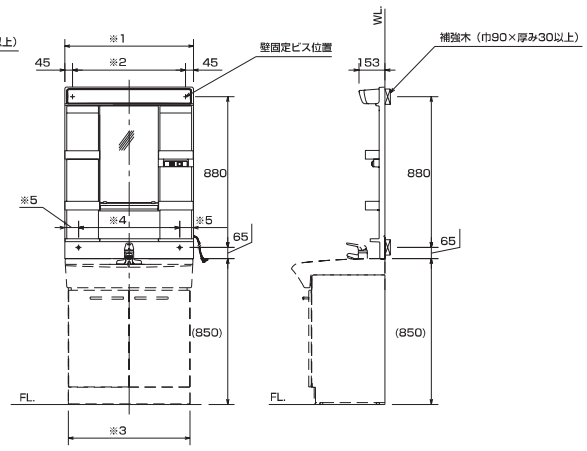
	MFK-501 MD7X1-501XF	MFK-501-G	MFA-601(H)	MFA-751(H)	MFK-601(H)	MFK-751(H)
歯ブラシ立て	1個（スタンドタイプ）					
白熱ランプ	−		2個（40W・直径95mm）		−	
蛍光ランプ	1個		−		1個	
照明カバー	1個		−		1個	
壁固定ねじ （φ4.0×50mmトラス）	4本					
化粧キャップ	2個		4個		2個	
棚トレイ	2個			4個		
取付説明書 取扱説明書	各1部					

■寸法図

●白熱ランプの場合



●蛍光ランプの場合



	※1	※2	※3	※4	※5	※6
MFA-601(H)	600	510	45	560	510	45
MFA-751(H)	750	590	80	710	590	80

	※1	※2	※3	※4	※5
MFK-501 MD7X1-501XF	500	410	460	410	45
MFK-501-G	500	410	460	410	45
MFK-601(H)	600	510	560	510	45
MFK-751(H)	750	660	710	590	80

安全のために必ずお守りください

●ここでは取付けに際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。取付前にこの項目をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。

●用語および記号の説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⃠	「　禁　　止　」を表します。
⃠	「分解禁止」を表します。
❗	「必ず行うこと」を表します。

⚠警告

❗ 電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰されることがあります。

❗ 電気工事は必ず分電盤のブレーカーを切って行ってください。
※感電の恐れがあります。

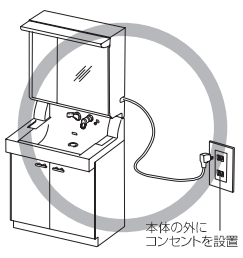
⃠ 改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は分解したり修理したりしないでください。
※火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

⚠警告

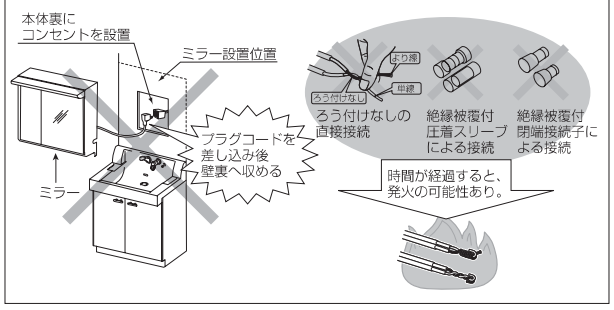
❗ 電源はAC100Vを使用してください。
※AC100V以外を使用すると火災、感電、ケガ、故障の恐れがあります。

⃠ ストーブやヒーターなど、熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※火災、変形や変色を起こす恐れがあります。

⃠ ■標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)の場合
コンセントは本体の裏面には設置しないでください。電源プラグ付コードを切断して不適切な直結接続をしないでください。電源プラグ付コードを取り外して直結接続をしないでください。直結接続を行う場合は直結仕様タイプ(品番末尾-G)にて行ってください。
※点検・確認ができない場所にコンセントを設けると、万一ホコリや湿気などでトラッキングが発生した場合に火災の恐れがあるためお勧めできません。
※電源プラグ付コードを切断しての不適切な工事は火災、漏電の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。



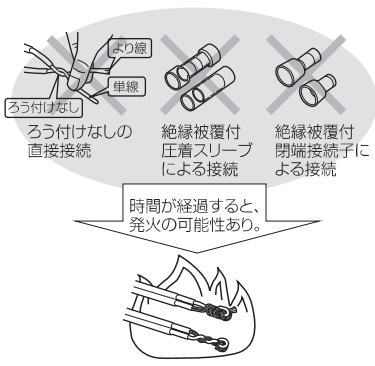
●不適切な接続例



⚠警告

❗ ■直結仕様タイプ(品番末尾-G)の場合
取付けの際は必ずこの取付説明書に記載されている直結配線の方法に従って、接続を確実に行ってください。標準タイプ(電源プラグ付コード仕様）では直結配線をしないでください。
※不適切な接続の場合は、火災や漏電の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

●不適切な接続例



⃠ 電源プラグ付コードなど各配線に、以下のことをしないでください。
傷つける・無理に曲げる・無理な力を加える・束ねる・重いものを乗せる・挟み込む
※火災、漏電や故障の恐れがあります。
※接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電の恐れがあります。

⃠ 電源は専用の回路を設けて接続してください。また、電源は110V、15A または20A の過電流遮断器が設置された回路と接続してください。
※火災などの恐れがあります。

株式会社 LIXIL

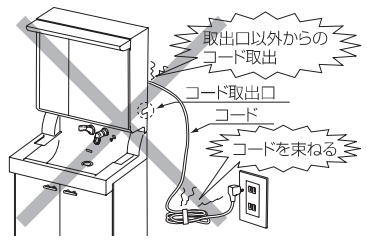
お客さま相談センター商品相談窓口ナビダイアル　☎0570-017173
平日「9:00～18:00」対応　土日・祝日「9:00～17:00」対応（ゴールデンウィーク・年末年始・夏期休暇は除く）

PMB-0582(14035)

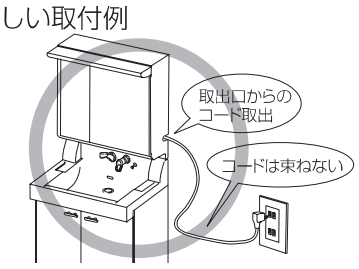
⚠ 警 告

取付けの際は、取付説明書の方法に従って取り出し口を作成してから電源プラグ付コードを取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにしてください。
※電源プラグ付コードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。また製品にひずみが発生し、鏡や扉のひずみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。

●不適切な取付例

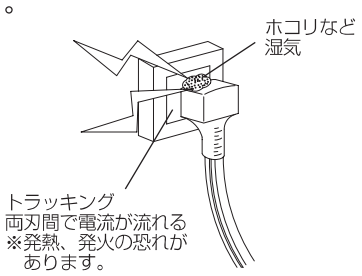


●正しい取付例

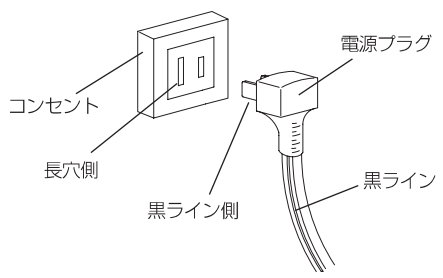


電源プラグを抜くときは、コード部分を持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源プラグをコンセントに接続する際は、電源プラグやコンセントの周辺の木屑、ゴミ、ホコリなどを取り除いてすき間がないように奥まで接続してください。
※木屑、ゴミ、ホコリなどがついているとトラッキング現象（電源プラグの刃の間に溜まった木屑、ゴミ、ホコリなどに湿気が加わり、両刃間で放電され、樹脂部が炭化し導電路が形成され発熱、発火する現象）が発生し、火災の恐れがあります。



電源プラグをコンセントに接続する際は、電源コードの黒ラインが入っている側の刃をコンセントの長穴側に接続してください。
※電源プラグの刃を逆向きにコンセントに接続すると電球を交換する際にソケット部分に触れると感電の恐れがあります。



浴室内などの高温多湿場所へは放置しないでください。
※感電や漏電の恐れがあります。

⚠ 注 意

この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁など）の場合は、壁の施工のやり直しを行ってください。
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。

キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mを越える場合は、壁の施工のやり直しを行ってください。
※不陸があるまま取り付けると、鏡がひずんだり割れたりする恐れがあります。

お 願 い

⚠ 警告

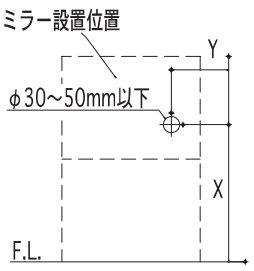
●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。また、スポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類・ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコールなどの溶剤や油類を使用して、キャビネットをふかないでください。
※ 変色や変形、ヒビ割れの恐れがあります。
●壁面工事や建築仕上工事に使われる溶剤・接着剤・洗剤・その他の薬品類は、容器などに記載されている注意事項にしたがってお使いください。人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。

取付前の確認

1. 電源の確認

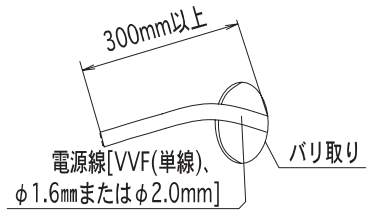
⚠ 警告

<直結配線タイプ（品番末尾「-G」の場合）>
●取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線［VVF（単線）、φ1.6mmまたはφ2.0mm］を取り出してください。



品番	直結配線位置	
	X	Y
MFK-501	1400	75
MFK-601(H)		
MFA-601(H)		
MFK-751(H)		100
MFA-751(H)		

●電源線の有効長さを300mm以上にしてください。
●穴あけした端部は電源線に傷をつけないようにバリをとってください。



<標準タイプ：電源プラグ付コード仕様の場合>
●電源コンセントの位置は、プラグコードの届く範囲で、床面より高く水のかからない場所に設定してください。
※誤った配線工事は、感電や火災、故障の原因となります。

2. 壁面工事の確認

⚠ 警告

取付強度を保てない場合、ミラーキャビネットが落下してケガをする恐れがあります。下記事項が守られていることを事前に確認のうえ、取付けを行ってください。

●この説明書に記載されている「ミラーキャビネットを取付可能な壁面」以外には取り付けないでください。記載の条件を満たさない場合は、壁を施工しなおしてください。
●壁面の不陸が5mm／2m を超える場合は、必ず壁を施工しなおしてください。（ミラーキャビネットを壁に当てて、壁とのすき間が5mm 以下であることを確認してください。）
●本体固定用ねじは指定のものを指定本数使用してください。

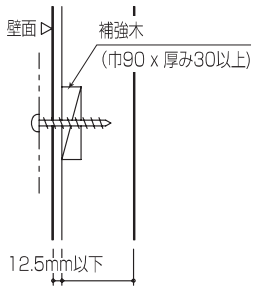
〔乾式壁の場合〕
●幅90mm×厚み30mm 以上補強木を「ねじ固定位置」が指定の位置（寸法図参照）に必ず設けてください。
●補強木は必ず柱・間柱・縦桟木など建築躯体に固定してください。また、補強木の固定部材は、ミラーキャビネットの固定強度（図1乾式壁参照）と同等以上になるよう、種類・数を選定してください。
●壁固定用ねじを補強木の中心に25mm以上かかるように固定してください。
壁固定用ねじを補強木に届かせるため、壁仕上げの総厚さは12.5mm 以下にしてください。
●石こうボードなどで補強木が見えない場合は、工務店さまに位置および固定方法を確認してください。さらに針刺しなどで壁固定ねじの位置に補強木の中心があることを確認してください。
●リフォームなどの現場で補強木位置が不明な場合は、石こうボードをはがして確認してください。また、補強木がない場合は必ず補強木を取り付けてください。

〔湿式壁の場合〕
●コンクリートブロック壁の場合、中空部はモルタルを詰めてください。
●AYボルトを壁本に届かせるため、壁仕上げの総厚さは20mm 以下にしてください。
●壁固定用ねじ合ったAYボルトを使用して、ミラーキャビネットを取り付けてください。

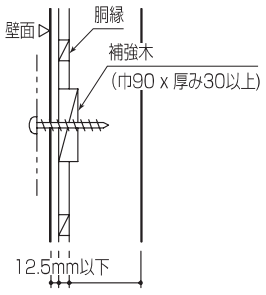
キャビネットを取付可能な壁面

(1) 乾式壁

●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け



●タイル仕上げ

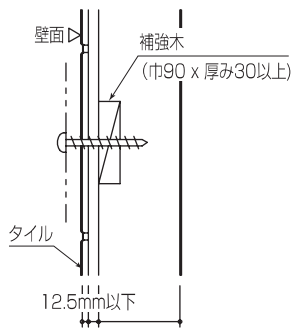
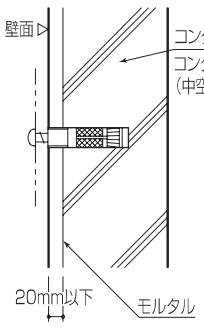


図1

(2) 湿式壁

●モルタル仕上げ



●タイル仕上げ

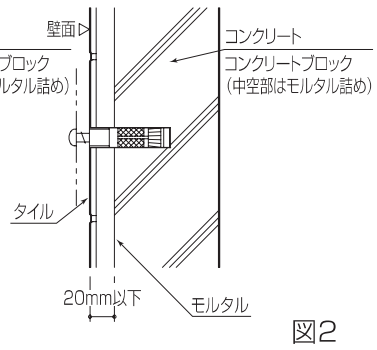


図2

取付方法

■ミラーキャビネットの取付け

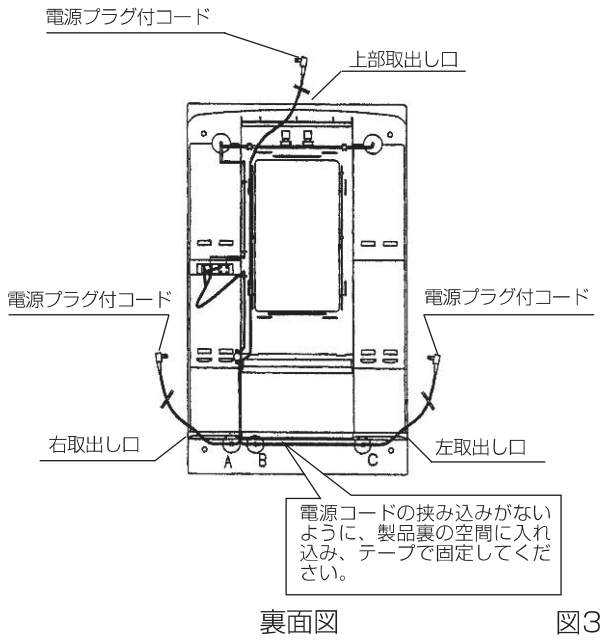
1. 電源の準備

●電源プラグ付コードの取出し（電源プラグ付コードを使用する場合）

⚠ 警告

●電源プラグ付コードはコード取出口より取り出し、キャビネット本体と壁の間に挟み込まないようにしてください。
※電源プラグ付コードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。また製品にひずみが発生し、鏡や扉のひずみなど商品に悪影響が生ずる恐れがあります。

コードを取り出す側（電源コンセント側）のコード切り欠き部からコードを取り出します。
※コード取出口は左・右・上の3ヶ所あります。
左から取り出す場合… B、Cのツメにコードを止めます。
右から取り出す場合… Aのツメにコードを止めます。
上から取り出す場合… 鏡横の立ち面の間を通して、コードを取り出してください。



裏面図　　図3

●コンセントの取外し（直結配線タイプ（品番末尾「−G」の場合））

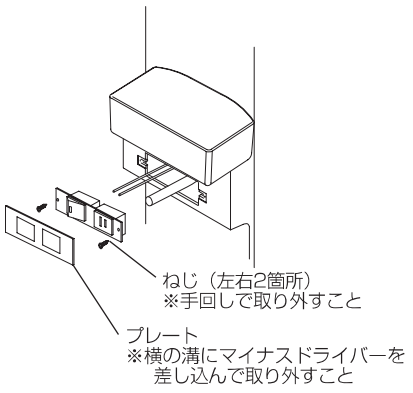
直結配線の方法

電気工事

⚠ 警告

●電気工事は電気設備技術基準、内線規程など関連する法令・規定に従って必ず電気工事士の資格を有する者が適切な方法で行ってください。
※無資格者の工事や、電気工事士による不適切な工事の場合は、火災や漏電を引き起こす恐れがあるほか、関係法令により処罰されることがあります。
●取付けの際は必ずこの取付説明書に記載されている直結配線の方法に従って、接続を確実に行ってください。標準タイプ(電源プラグ付コード仕様)では直結配線をしないでください。
※不適切な接続の場合は、火災や漏電の恐れがあります。
※標準タイプから電源プラグ付コードを取り外すと、取り外す際に渡りコードが緩み、発熱、発火の恐れがあります。

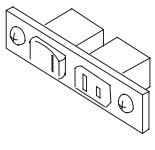
コンセントを取り外します。
※接続されている配線は抜かないでください。



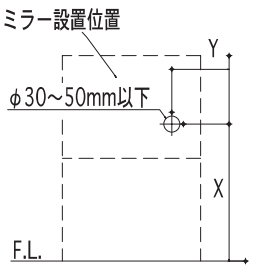
ワンポイント

外したねじとプレートはまた使用しますのでなくさないようにしてください。コンセントのねじ穴にねじを入れ、プレートをはめ込むと一つにまとまります。

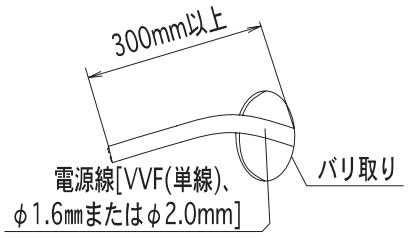
ワンポイント



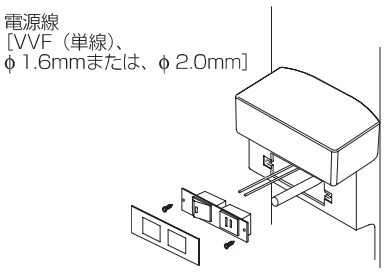
①取付前にあらかじめ下記の所定位置に電源線［VVF（単線）、φ1.6mmまたはφ2.0mm］を取り出してください。
電源線の有効長さを300mm以上にしてください。
穴あけした端部は電源線に傷をつけないようにバリをとってください。



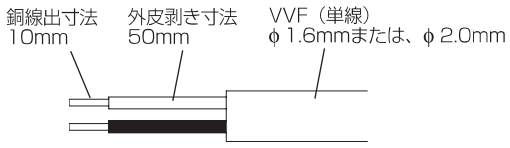
品番	直結配線位置	
	X	Y
MFK-501	1400	75
MFK-601(H)		
MFA-601(H)		
MFK-751(H)		100
MFA-751(H)		



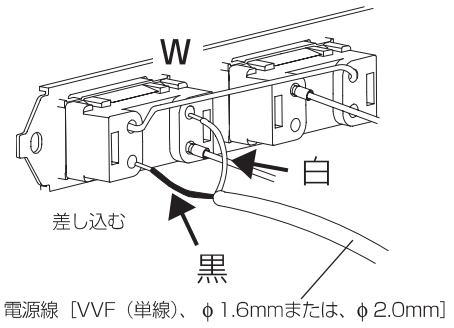
②電源線がコンセント開口部から出ていることを確認してください。



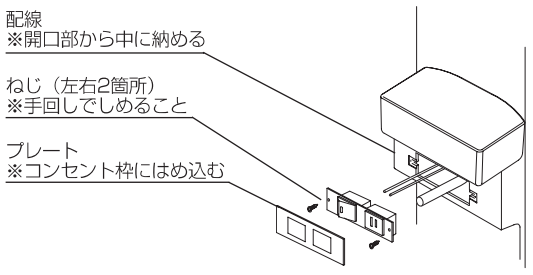
③電源線を以下のように加工してください。
VVFケーブルの被覆と外皮の剥き寸法



④電源線をコンセントの裏側に差し込んでください。
電源線は端末先端が奥に突き当たるまで必ず確実に差し込んでください。
正確に接続されているか否か１本ごとにかるく引っ張り、必ず確認してください。



⑤配線を中に収め元通りに取り付けてください。



※電源線が長すぎて納まらない場合は、コンセントから電源線を抜き、適切な長さに切断し、③からやりなおしてください。

2. 蛍光ランプの照明カバーの取外し

●図4のように照明カバーの両端から10cm位の所の上面と下面を軽く挟んで持ち、手前に引き抜きます。

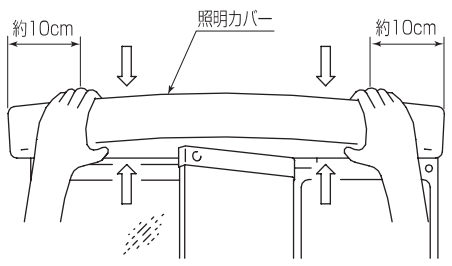


図4

3. 位置決め

●洗面化粧台の立ち上がり部が水平であることを確認してください。水平がでていない場合はミラーキャビネットも水平に設置できません。
※水平器で水平を確認してください。

●ミラーキャビネットは洗面器立ち上がり部に、水平にすき間のないようセットします。（はめこみがきちんとされていない場合、水の侵入がおこりやすくなります。）
※直結配線タイプは電源線をコンセント開口部から引き込みながら設置してください。

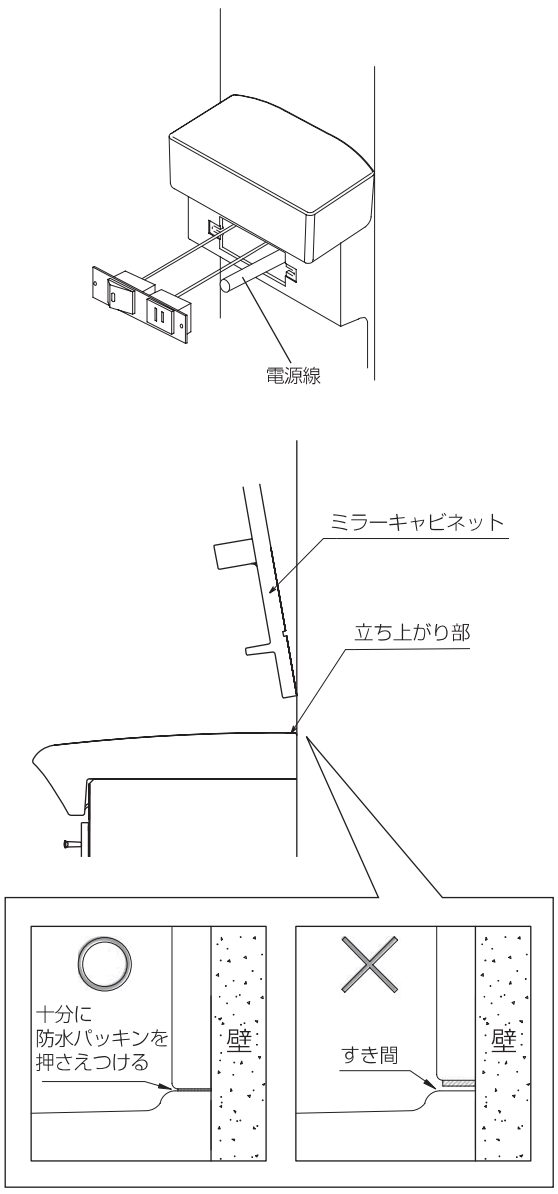


図5

お願い

●ミラーキャビネットの幅は、洗面器の幅よりも大きくなっています。ミラーキャビネットを洗面器に設置する際は、ミラーキャビネットのはみだし部分を左右均等になるようにしてください。
※どちらかに偏らせると、隣にサイドキャビネットを設置した場合、すき間が空いてしまいます。

4. 壁固定

〔乾式壁の場合〕

●壁固定用ねじ固定部は上下4ヶ所あり、上部は照明部の両端2ヶ所、下部は両端の2ヶ所です。
固定部にはそれぞれ下穴が設けてありますので付属のねじ（φ4.0×50mm）で固定してください。

●ねじ固定後、白熱ランプは4ヶ所、蛍光ランプは下部両端の2ヶ所に化粧キャップをはめます。

お願い

壁固定には必ず付属のねじをご使用ください。

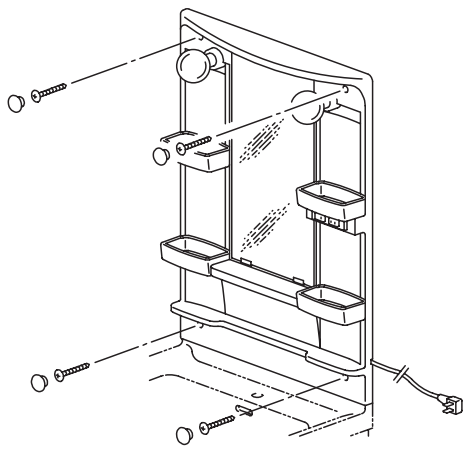


図6

〔湿式壁の場合〕

●別途手配のAYボルトKB-4×60T(AY)をご使用ください。

(1)壁のAYボルトの位置を確認し位置出しします。

(2)下穴（φ7.5mm）を壁にあけ切粉をよく取り除きます。
※下穴は電動ドリルを使用し正確に開けてください。

(3)AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。

(4)壁固定用ねじの固定部は乾式壁の場合と同様です。

■照明（白熱ランプ）の取付け

(1)付属品の白熱ランプ（40W、直径95mm×2個）をソケットに取付けます。

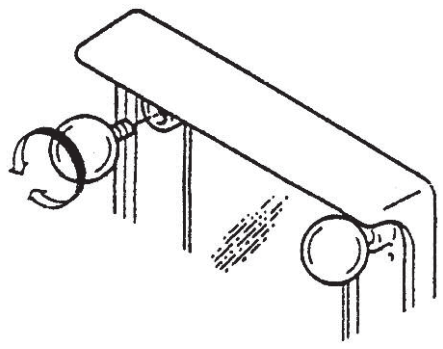


図7

■蛍光ランプのカバーの取付け

(1)照明器具の周波数は50Hzにセットされています。60Hz地域でのご使用の際にはスイッチを60Hzに切り替えてください。

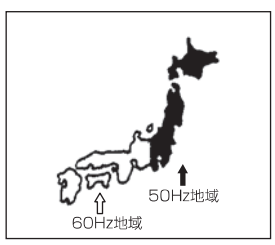


図8

(2)①蛍光ランプの端のテープをはがしてください。
※輸送中の破損防止を目的としたテープです。

図9

②図4のように照明カバーを両端から10cm位の所の上面と下面を軽く挟んで持ち、奥に押し込んではめます。

取付後の確認

■キャビネット本体の確認

(1)キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。

(2)キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認してください。

(3)ミラーキャビネットが洗面器立ち上がり部にすき間が無く固定されていることを確認してください。

(4)電源プラグをコンセントに差し込み、照明スイッチを操作して点灯することを確認してください。

お願い

製品についたヨゴレは、固く絞ったぬれぶきんでふき取ってください。